

しあわせ

197

2021 May

西宮市社会福祉協議会

くらしのこと、一人で悩まず 一緒に考えませんか？

～西宮市くらし相談センターつむぎ～

西宮市で生活されている全ての人が自分らしいくらしを実現できるように、様々な相談にのるセンターを目指してできた「西宮市くらし相談センターつむぎ」は今春、3年目となりました。

「つむぎ」という名前は、糸をより合わせてひとつのものを作り上げていくように、「地域」「関係機関」「多職種」とつながり、「つむいでいく」という思いが込められています。



例えばこんな相談をお受けしています

「生活が苦しい」「仕事が続けられるか不安」「ずっと家にいる家族の将来が心配」など、多岐にわたる相談をお受けしています。代表的な事例を2つ紹介します。

事例1 支払いが苦しい

30代男性より「公共料金が支払えない」とご相談があり、家計状況を一緒に整理しました。収支を把握したことがないとお聞きしたので、一緒に見直しながらご自身で管理していくサポートをしました。ご本人より「ひとりでは難しいが一緒に整理してもらうことでわかるようになりました」との声をいただいています。



事例2 家にずっといる家族のことが心配

ご家族より「ずっと家にいる娘のことが心配」という相談がありました。就職活動がご本人にとって辛かったようで、それ以降沈みがちであるとのことで、ご家族から「つむぎというところに相談に行ったのよ」と伝えてもらうことにしました。その様子を聞きながらご本人とつながれることを目指し、今は手紙や電話でやりとりをしてご本人の希望を聞く機会を作ろうとしています。



＊ 同じ悩みを持つ人どうして話せる場もあります ＊

つむぎに来られた、同じ悩みを持つ相談者どうしが一緒に話し合い、社会に一步踏み出すきっかけになるグループ活動「ゆるラボ」を行っています。年末年始、食事に困っている方に渡すための食品詰め合わせ^(※)の袋詰め作業を「ゆるラボ」参加者にさせていただいたとき、「お役にたててよかった」という感想がありました。後日、その詰め合わせを受け取った方の「助かった、ありがとう」との声を参加者にお返しすることもできました。あたたかい気持ちがつながりつむがれるこんな活動を、今後も企画する予定です。

※食品詰め合わせは歳末たすけあい募金を活用して用意したものです。



お問い合わせ

西宮市社会福祉協議会 西宮市くらし相談センターつむぎ (西宮市自立相談支援事業)

TEL. 0798-23-1031 FAX. 0798-31-1807

相談時間 月～金曜日 9:00～17:00 (祝日および年末年始をのぞく)

たくさんの
思いが

会えなくても、心は繋がっていたい アマビエプロジェクトへ

青葉園・ふれぼのの本人さんの思いから、交流のある方や地域の方とのハガキのやり取りを通じて、疫病退散にご利益のあるアマビエの制作を行いました(詳細はしあわせ194号をご覧ください)。届いたハガキは、なんと350枚以上!集まったハガキを組み合わせると巨大なアマビエが完成しました。

また、浜脇、大社、甲東、段上、段上西の各地域では、地区社会福祉協議会が中心となり、青葉園・ふれぼのの本人さんも参加しながら、ウロコのメッセージや看板、アマビエの頭づくりなど、様々な形で地域版のアマビエを制作してきました。

アマビエプロジェクトは、青葉園・ふれぼのの本人さんたちと今まで繋がりがあった人たちの思いが集まり、その話を聞いて活動に共感した人たちにも広がっていきました。いろんな人の思いがこのアマビエには詰まっています。“会えなくても、心は繋がっていたい”そんな気持ちを大切にこれからも活動をしていきます。



現在アマビエは、青葉園、地域共生館ふれぼの、総合福祉センターなど西宮市内を巡業中です。今後もどこかに登場するかもしれません。お楽しみに!
※私たちは青葉園・ふれぼのに通う一人ひとりのことを「利用者」ではなく「本人」と呼んでいます。

お問い合わせ

青葉園事業課

TEL.0798-35-0013 FAX.0798-35-4781

学生と一緒にコロナを乗り越えよう 学生応援プロジェクト Part3



広がる! 学生同士の助け合いの輪

昨年度、新型コロナウイルスの影響を受けた学生への支援を目的に、関西学院大学の学生を中心として、生活協同組合コープこうべと西宮市社会福祉協議会がサポートする形で学生応援プロジェクト“繋がり隊”が発足しました。“繋がり隊”の活動を市内の大学に広げていきたいという思いから、近隣の神戸女学院大学の学生にプロジェクトへの協力を呼び掛け、同大学の学生を対象にした「食材提供会」を実施しました。

打ち合わせでは、「学生が来やすい場所はどこか」「当日はどんな声掛けをしようか」「今、実際に困っていることを聞いてみよう」などと、様々な意見を出し合いながら準備を進めていきました。

当日は、大学から近い場所を地域の方からお借りして、学生46人へ食材を“繋がり隊”メンバーが手渡ししました。

同じ学生目線で企画・運営を行ったことで、食材提供会に来た学生の皆さんも緊張することなく笑顔で食材を受け取っていました。

※提供した食材は生活協同組合コープこうべよりご寄付いただきました。



“繋がり隊”
初参加の
学生の声

ニュース等で苦しい思いをしている学生の仲間がいることを知っていました。繋がり隊の活動を知って、自分も役に立てたらと思い活動に参加しました。



お問い合わせ

共生のまちづくり課 地域支援係

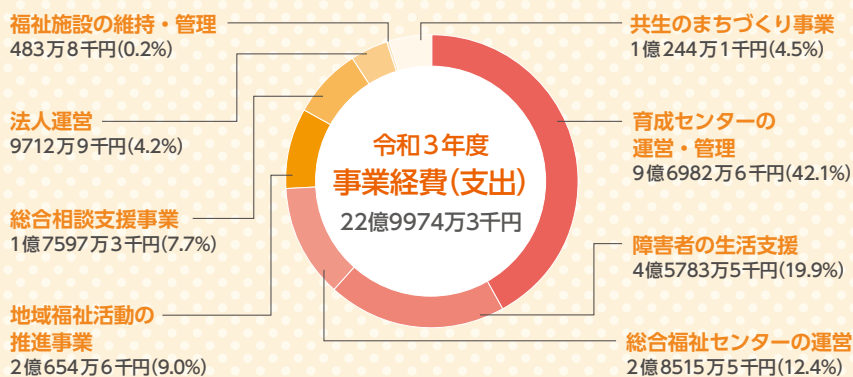
TEL.0798-61-1361 FAX.0798-61-1409

令和3年度 西宮市社協が力を入れて 取り組む事業を紹介します

令和3年度
西宮市社会福祉協議会
事業計画

福祉目標「みんなで創り出す“共生のまちづくり”」に向かって、今年度も市民の皆様と一緒に活動を進めていく予定です。ご協力、よろしくお願い致します。

- 地域での新たな拠点づくりを、住民と共にすすめます。**
 - つどいや共生型地域交流拠点など、多様な居場所づくり
 - 障害のある人たちをはじめ、誰もが身近で活動できる場づくり(北部拠点づくりなど)
- コロナ禍の新たな課題を多様な主体と一緒に乗り越えていく活動を展開します。**
 - 大学生自身による活動“繋がり隊”と地域活動とのつながりづくり
 - 子どもやしんどい思いを抱えた方々に寄り添いながら、地域の中で支える取り組み
- 分野や部署を越え、制度の狭間をうまい相談支援体制づくりを目指します。**
 - 市社協組織の部署間および他機関(多職種)との連携を積極的に促進
 - 当事者が地域でいきいきと活動できるようなサポートや地域土壌づくり



事業計画全体についてはホームページをご覧ください。
また、職員募集についても随時、ホームページに掲載を予定しています。



1年半ぶりに「アイビーみんなのつどい」を開催

西宮市障害者就労生活支援センター「アイビー」では、市内で働いている障害のある人たちの余暇の支援やご本人同士のつながりづくり、相談ができる場として「みんなのつどい」を開催しています。

コロナ禍で昨年度は開催できませんでしたが、感染予防しながら、みんなで身体を動かしてリフレッシュできる内容を企画しました。どうぞ気軽にご参加ください。

- 内容 身体を動かそう!
- 日時 7月3日(土)13:30 ~ 14:30
- 場所 総合福祉センター本館1階体育室
- 対象 障害のある人(手帳の有無、障害の種類や程度は問いません)
市内在住・在勤のどなたでも参加いただけます。
- 定員 20名(先着順) 参加費 無料
- 持ち物 動きやすい服装、飲み物(お茶または水)、体育館シューズ(必携)、タオル
- お申し込み・お問い合わせ 予約制(6月1日より受付開始)
- GoogleフォームのQRコードより申込みもしくは、西宮市障害者就労生活支援センターアイビーまで(TEL:0798-22-2725 FAX:0798-22-2724)



アイビーみんなのつどいの詳細については、西宮市社会福祉協議会のホームページにアップしますので、ご覧ください。中止となる場合もホームページでお知らせします。

広告

武庫川女子大学

一生を描ききる女性力を。

MUKOJO
ACTION

2019-2039

武庫川女子大学大学院
武庫川女子大学専攻科
武庫川女子大学短期大学部
武庫川女子大学附属高等学校
武庫川女子大学附属中学校
武庫川女子大学附属幼稚園
武庫川女子大学附属保育園

〒663-8558 西宮市池開町6-46 TEL.0798-47-1212(代表)

この広報紙は、市民のみなさまからご協力いただきました「赤い羽根共同募金」の配分金及び「社協会員会費」で作成しています。

西宮市社会福祉協議会

〒662-0913 西宮市染殿町8-17(西宮市総合福祉センター内)
TEL.0798-34-3363(代) / FAX.0798-35-1132 URL: https://nishi-shakyo.jp/

2021年5月25日発行
年4回発行(次号9月発行予定)